

2023年6月12日

各位

株式会社 FOLIO

「AI 投資」を推進する FOLIO が 投資一任契約増加件数 2022 年度通期で第 1 位を獲得

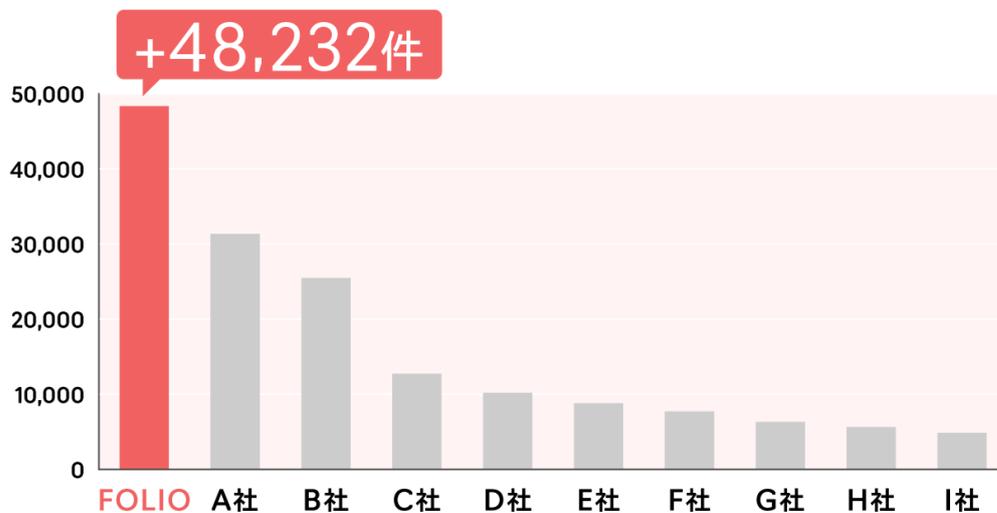
AI(人工知能)を活用したロボアドバイザー「AI 投資 ROBO PRO(以下 ROBO PRO)」および株式会社 SBI 証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下:SBI 証券)と共同開発した「SBI ラップ」を提供する株式会社 FOLIO(本社:東京都千代田区、代表取締役 CEO:甲斐 真一郎、以下:FOLIO)が、ラップ業務にかかる投資一任契約で、2022 年度通期において契約増加件数第 1 位^{※1}となったことをお知らせします。



※1 一般社団法人日本投資顧問業協会が公表している統計資料「契約資産状況『ラップ業務』」に掲載されている協会会員の「投資運用」契約件数(個人及び法人の合計数)を用いて、2022年3月末時点から2023年3月末時点までの増加件数を計算したものです(2023年6月FOLIO調べ)。FOLIOの契約件数は、SBIラップおよびFOLIOが提供する投資一任サービスの契約件数の合計値です。

■「ラップ業務」にかかる投資一任契約の契約増加件数(2022 年度通期)で FOLIO が第 1 位^{※1}を獲得

下表は 2022 年度通期の「ラップ業務」にかかる投資一任契約における主要 10 社^{※2}の契約増加件数です。FOLIO が+48,232 件で第 1 位^{※1}となりました。



※ 表の数値については※1をご参照ください。

※2 一般社団法人日本投資顧問業協会統計資料「契約資産状況『ラップ業務』」(2022 年 3 月末および 2023 年 3 月末)にて公表されている計 27 社のうち、同期間における契約増加件数上位 10 社のことを指します。(外部サイト: 日本投資顧問業協会 HP <https://www.jiaa.or.jp/toukei/> 2022 年 3 月末:<https://www.jiaa.or.jp/toukei/pdf/r/202203wrap.pdf> 2023 年 3 月末:<https://www.jiaa.or.jp/toukei/pdf/r/202303wrap.pdf>)

■FOLIO が進める「AI 投資」について

今回ラップ業務にかかる投資一任契約の 2022 年度契約増加件数第 1 位^{※1}を達成できた背景として、FOLIO が推し進める「AI 投資」のコンセプト及びパフォーマンスをお客様から評価いただけたものと考えております。

FOLIO では、人を凌駕するパフォーマンスを目指す資産運用サービスとして AI による相場予測をもとに運用を行う「ROBO PRO」を 2020 年 1 月にリリースし、以降 3 年以上に渡って「AI 投資」のノウハウを蓄積してきました。その結果、2023 年 4 月 21 日に金融庁より公表されたロボアドバイザーの過去 3 年の累積パフォーマンスで「ROBO PRO」が No.1^{※3}となりました。

- AI 投資「ROBO PRO」はこちら

<https://folio-sec.com/robopro>

- AI 投資「ROBO PRO」、金融庁が公表したロボアドバイザーの過去 3 年のパフォーマンスで第 1 位^{※3}を獲得

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000119.000022761.html>

※3 「国内運用会社の運用パフォーマンスを示す代表的な指標(KPI)の測定と国内公募投信についての諸論点に関する分析」の公表について (別添)「2022 年末(4)ファンドラップ関連」(2023 年 4 月 21 日)

<https://www.fsa.go.jp/common/about/research/20230421.html>

・データは 2022 年末時点。対象は主な投資一任型ロボアドバイザー 5 社。

・各社がサイトで公開している「コスト控除後・円建て」の月次データを基に計測。各社公開データは、2017 年 8 月にロボアドバイザー提供会社が行った「情報開示の更なる向上に関する共同宣言」に基づき開示されている。

・「ROBO PRO」はサービス開始が 2020 年 1 月 15 日のため、計測期間の 3 年は 2020 年 1 月 15 日から 2022 年末までの約 3 年間で計算。

・運用実績は将来の運用成果等を示唆又は保証するものではありません。

■AI 投資ノウハウを活用した「SBI ラップ」

「SBI ラップ」は、SBI 証券から提供されている投資一任運用サービスです。FOLIO が提供する投資一任サービスのシステムプラットフォーム「4RAP」を採用し、運用業者 FOLIO が持つノウハウを最大限に活かした質の高い運用サービスを低コストで提供しています。

「SBI ラップ」は 2022 年 3 月のサービス提供開始から 14 ヶ月余りで、「SBI ラップ × SBI 新生銀行」^{※5}を合わせた預かり資産が 400 億円を突破しました。

「SBI ラップ」では AI による予測技術を利用して期待リターンを算出し、積極的な利益の追求や損失の軽減を目指す資産運用サービス^{※4}を投資一任手数料 0.66% (年率・税込) という低価格で提供している点、また、「SBI ラップ × SBI 新生銀行」では、お申込みにあたって店頭コンサルタントによる丁寧なヒアリングを基にした運用相談等を受けながら投資一任手数料 1.21% (年率・税込) という低水準で全自動の資産運用を行える点を、お客さまに評価いただいたものと考えています。

● 「SBI ラップ」はこちら

https://go.sbisec.co.jp/prd/swrap/swrap_top.html

● 「SBI ラップ × SBI 新生銀行」はこちら(店頭限定)

https://www.sbishinseibank.co.jp/retail/swrap/swrap_tempo/

※4 「SBI ラップ」と「ROBOPRO」は同じ AI を搭載していますが、異なる運用戦略を用いた別の金融商品です。

※5 「SBI ラップ × SBI 新生銀行」は対面チャネル向けの運用商品で、「SBI ラップ」とは別の金融商品です。

■FOLIO の「AI 投資」の競争力の源泉

① 相場の先読みに役立つマーケットデータから厳選して、AI が多角的に分析

AI に「何を分析させるのか」によりアウトプットに大きな差が生じると考えられます。FOLIO の「AI 投資」では、相場の先読みに役立つ 40 種類以上のマーケットデータから 2,000 以上の特徴量を算出し、その中からデータを厳選し多角的に分析しています。

② 機械学習により年月の経過に合わせて予測精度の向上が期待できる

AI が相場の変動要因やその傾向を分析し機械学習を行い、予測モデルを自動で継続的に改善します。一般例として、予測を行う際に特定の特徴量を用いていることが精度を下げる要因となっていた場合に、今後はその特徴量を用いないことにする等の学習を行います。この「特徴量選択」が予測精度向上の鍵となります。

③ AI 予測だけに頼らず独自の方法で最適ポートフォリオを算出

AI が算出した予測値のみを用いて投資配分を決定するのではなく、伝統的な金融工学理論を用いたうえで、AI が算出した予測値をどれだけ反映させるのか等、FOLIO が独自に設けたアルゴリズムを組み込み、最適と考えられるポートフォリオを算出しています。



FOLIO の「AI 投資」はこれらを競争力の源泉とし、人を凌駕するパフォーマンスを目指します。

■「AI 投資」で資産運用をもっと身近なものに

高齢化社会がより加速している昨今、長期的な視点に立った資産運用の重要性がさらに高まりつつあります。「誰もが当たり前資産運用できる社会」の実現を目指す FOLIO は、弊社のサービスを通じ、また連携している各金融機関を通じてより多くの皆様に「AI 投資」サービスを提供できるよう努めてまいります。

■会社概要

株式会社 FOLIO

本社所在地: 東京都千代田区一番町 16-1 共同ビル一番町 4 階

事業内容: 第一種金融商品取引業、投資運用業

登録番号等: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2983 号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

代表者: 代表取締役 CEO 甲斐 真一郎

設立: 2015 年 12 月 10 日

URL: <https://folio-sec.com>

【FOLIO ROBO PRO のリスクと費用について】

金融商品の取引においては、株価、為替、金利、その他の指標の変動等により損失が生じ、投資元本が割り込むおそれがあります。お客様には、取得有価証券の時価評価額が 3,000 万円以下の部分は年率 1.00% (税込 1.10%)、3,000 万円を超える部分は年率 0.50% (税込 0.55%) の運用報酬料をご負担いただきます。ご契約の際は、契約締結前交付書面又は FOLIO ROBO PRO 投資一任契約書等の内容を十分にご確認ください。

リスク・手数料の詳細はこちら

<https://folio-sec.com/support/terms/transaction-fees>

【SBI ラップのリスクと費用について】

SBI ラップは、8 種類の専用の投資信託(以下、「投資対象ファンド」と表示)への投資により運用を行いますので、次のような原因で運用資産の時価評価額は大きく変動する可能性があります。したがって、お客さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。投資対象ファンドは、外国金融商品市場に上場している投資信託(ETF)を組入れることにより運用を行いますので、金利水準、株式相場、不動産相場、商品(コモディティ)相場等の変動による組入れ有価証券の値動き及び為替相場変動等に伴い、投資対象ファンドの市場価格も変動します。これらの要因により投資対象ファンドの市場価格が下落し、損失が生じるおそれがあります。ご負担いただく利用料等およびリスク情報につきましては、株式会社 SBI 証券(金融商品取引業者、商品先物取引業者 登録番号: 関東財務局長(金商)第 44 号 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会、日本商品先物取引協会)の WEB サイトの当該金融商品のページ、契約締結前交付書面、投資対象ファンドの交付目論見書等をご確認ください。

本プレスリリースに関する報道機関からのお問い合わせ先



株式会社 FOLIO

担当: 逢坂 (sosaka@folio-sec.com)、植澤 (tuesawa@folio-sec.com)